

水について思ったこと

山添村立山添中学校 三年 室 光記

僕は、今回この作文を書くにあたってまず、水について辞書で調べました。そうすると、二つの意味が出てきました。

一つ目は、水道や井戸から取る飲料水や、池・川・海などに自然にある液体と書いてあります。僕は、この意味を見て、僕達人間は、自然にある水を人間の勝手で、たくさん汚しているなあと改めて実感しました。その原因の一つに、工業排水があります。工業排水とは、工場で製品を作る時に発生する汚い水のことです。この水は、とても汚くない水です。この水が、工場から川に流れて、川の水を汚濁しています。そのせいで、川の生物は、どんどん減ってきています。僕は、川の汚濁によって死んでゆく生き物達を、僕は助けたいと思っていきます。僕は、工場を少なくして、工業排水を減らしたいと思えます。そうすれば、川の生き物達が死なずに済むと思

います。他にも、川の水が汚れると困ることがたくさんあります。たとえば、川の水を引いている水田では、稲が育たなくなります。そうすると、日本人の伝統のお米やみんな大好きなパンなどが食べれなくなります。そうになると、日本人の炭水化物の摂取量が減って、栄養に偏りができてしまいます。そうならないためにも僕は、工場を減らしてなおかつ、工業排水も減らして欲しいと思っています。二つ目は、生物の生活に、無くてはならないものと書いてありました。僕は、この意味に深く同感しました。なぜなら、僕達人間は、直接的なものでもなく、いろいろなところで水にお世話になっていきます。たとえば、生活用水である飲料水です。もし、この世界から飲料水が無くなると人は、何も食べられない、のどが渇きます。そうすると人は、何もできずに死んでしまいます。そうになると、と

ても困ります。その他の炊事、洗濯、入浴、水洗トイレなども使えなくなると、とても困ります。その他にも、農業用水があります。農業用水とは、農業や畜産に使われる水のことです。この水は、一年間に約五百四十六億^mも使われています。この農業用水が無くなると僕達人間が食べている物のほとんどの物が無くなってしまうと、僕達人間は食料不足に悩まされ、僕達人間はたくさん死んでしまいます。そう考えると水は、僕達人間にとっても大切な役目をしている物だと実感しました。

僕は、今回、この水の作文を書いて、水の大切さを改めて考え直されました。水が無いと、僕達人間や他の生き物達も死んでしまいます。こう考えると、僕達人間は水と深く関係していることが分かります。去年、三月十一日に東日本大震災が起こりました。今も、その被災地では、水が不足して困っています。僕は、募金をなるべくするようにしています。募金も少ないです。しかし、その募金したお金が少しでも被災地の人へ水などに役立てられるととてもうれしいです。僕は、最

初、あまり水に関して興味がありませんでした。しかし、三年前、中学校へ入学して、水の作文を書いて、僕は水の大切さが徐々に分かってくる。だから僕は、節水や水を汚さないように気を付けてみます。みなさんも、水について考え直してみてください。